

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

北海道恵庭市 恵み野駅東口駐車場

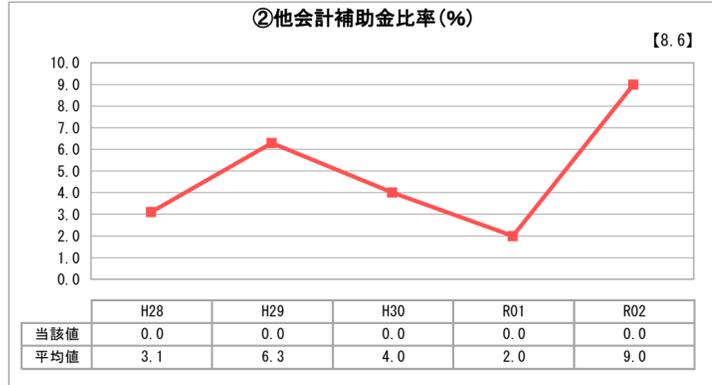
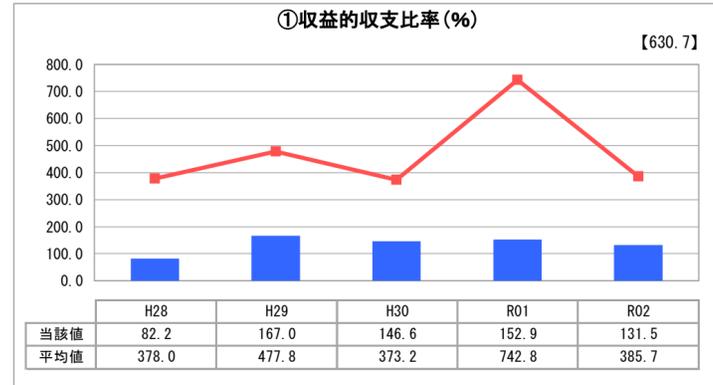
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	13	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	1,573
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
125	100	無

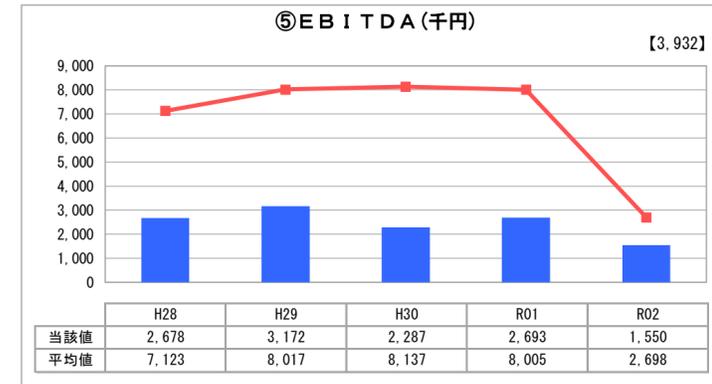
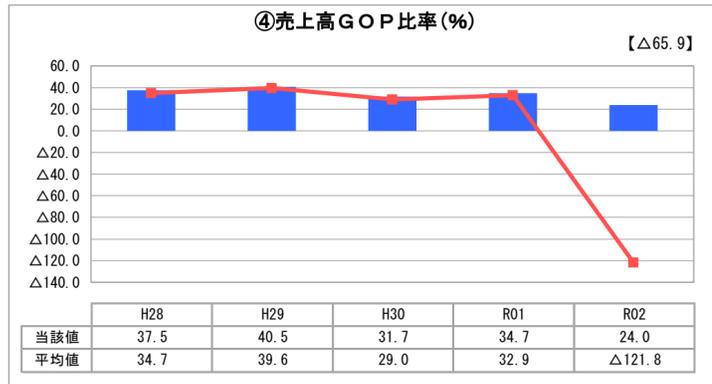
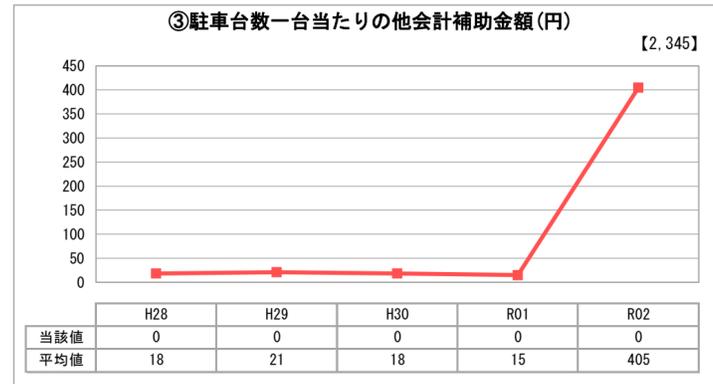
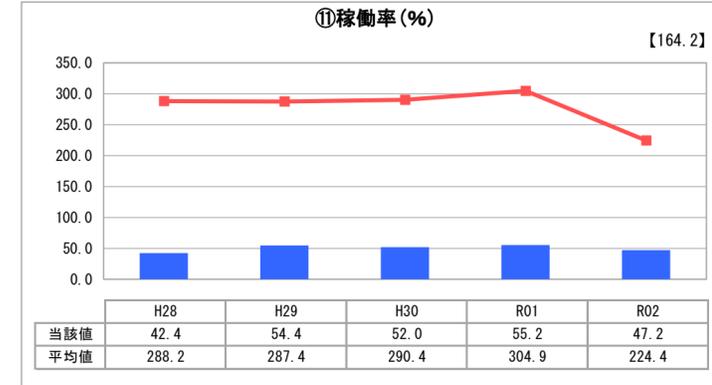
**グラフ凡例**

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 収益等の状況



## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況

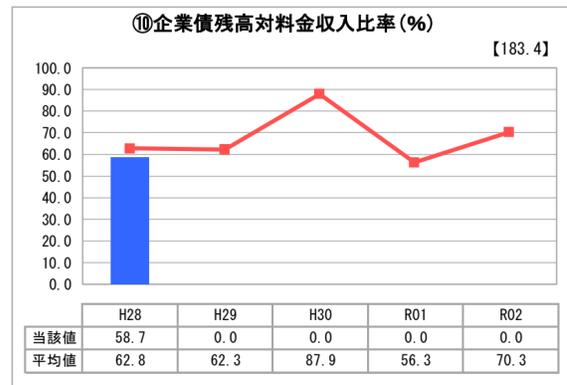


⑦敷地の地価(千円)

94,414

⑧設備投資見込額(千円)

29,021



## 分析欄

**1. 収益等の状況について**  
 恵み野駅東口駐車場は、JR駅に近接しており需要が高い施設ですが、立地の特性上、回転数が少なく、また1日最大料金を設定しているため料金収入が伸びない傾向にあります。近年の収益的収支比率は100を超えている状態を継続していますが、類似施設の平均値からは大きく下回っている状況です。一方で、他会計補助金はゼロであり、補助金に頼らない運営ができています。令和2年度は新型コロナウイルスの影響によって利用収入が大きく落ち込んだため、収益に関する各指標は昨年度より低下しており、売上高GOP比率のみが類似施設の平均値を上回る状態を保っています。

**2. 資産等の状況について**  
 当駐車場は平成19年度に整備した青空駐車場であり、固定資産は土地及び一部の機器類のみであり、機器は導入後10年以上経過しており、残存価値はほとんどなく故障対応も増加してきている状況であるため、今後の大規模更新を視野に入れていく必要があります。土地については敷地面積が広く、またJR駅近接という立地条件上、地価は非常に高いものとなっています。当初整備分の償還は既に終了し、その後大規模更新を行っていないため、現在の企業債残高対料金収入比率はゼロとなっています。

**3. 利用の状況について**  
 当駐車場はJR駅に近接しており、需要は高いものの、当市では近隣の恵み野駅跨線橋高架下東・西にも駐車場を整備している他、利用の中心はJR通勤者をはじめとした長時間利用者であり、回転数が伸びないため稼働率の数値は類似施設の平均値から大きく下回っている状態にあり、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により利用が落ち込んだことにより、稼働率は昨年さらに下回っている状況です。

**全体総括**  
 当市が有する市内6カ所の駐車場については、全てがJR駅周辺に位置しているため、利便性が高く周知も広まってきたこともあり、ある程度安定した利用があります。しかし令和2年度は全駐車場でも新型コロナウイルスの影響を強く受け、恵み野駅東口駐車場も大きな減収となりました。今後の利用人数や収支の状況の推移に注視しながら、老朽化の進んでいる設備の更新等を見据え、収益状況の改善に引き続き努めていく必要があります。